



●「あそこ」とは

84歳の母が「まだ、あそこには入りたくないから頑張る」と、よるめきつつ洗濯物を干していた。私は「そっだよ、土の中はジメジメしているし寒いし、おしゅうとめさんもいるよ」と励ますと、「そっぢゃない」とおかんむり。介護施設のことだった。
(北海道釧路市・先走り過ぎで、すみません・50歳)

●けんぼう

憲法を子どもでもわかるように解説した本を息子(10)に読ませたいと思い、書店員に「憲法の本はどこですか？」と聞いた。案内してくれた先は、格闘技コーナーだった。
(神戸市・その「拳法」ではありません・37歳)

●似た体形、服装で

夫、娘と3人で買い物へ。スーパーでプロッコリーを手にとったが、新鮮でなかったためやめた。横から夫の手が伸び、プロッコリーをつかんだので、「あ、それダメ」と取り上げ、棚へ戻した。すると見ていた娘が「お父さんじゃないよ!」。夫と思った人は、赤の他人だった。

●正しく認知できてます
内科医の妻が、認知症が出てきた患者さんを診察した。妻が「調子はどうですか」と尋ねると、「目も頭も具合が悪い」との返事。「どう悪いのですか」と聞くと、「先生の顔が美人に見えなくなった」。妻は「目も頭もよくなってきましたね、と言っておいたわ」。
(京都市・昔は美人だった?妻の夫より・70歳)

(千葉県八千代市・手の印象も似ていたんです・62歳)